



開所日時 月・水・木・金曜日
15時～18時
土曜日 10時～13時

児童デイ 今年は、療育への取り組みをスタッフ一丸となって、進めて参りました。児童自ら荷持や道具が収納できるように棚の配置替えや、押入れの整理等行いました。

少しずつ児童の自主性がついていますが、まだまだ改善すべき点もあり、これからも児童の過ごし易い環境作りにも取り組んでいきたいと思ひます。

—児童デイの継続決まらぬまま・越年か—

NPO 法人まごころ児童デイは来年3月までは経過措置としての運営で行います。4月以降の制度はまだ決まらず、不透明な状況ですが、障がい児童に配慮した制度になることを一宮市に要望致します。



絵: 横井健

ミニデイだよ!

ふれあい祭りでは、いつもミニデイ体操で聴き慣れた「三百六十五歩のマーチ」を演奏しました。そろいのTシャツを着て、堂々と本番に臨み、2カ月の練習の成果を披露できました。



11月は、紙粘土で思い思いの干支の置物をつくり、表情豊かな作品ができました。

かわいい干支の置物の力作・・・

心づれづれ

会報「まごころ」を
読んでいるみなさんへ

利用会員 横井健

初めまして、横井健、20才です。

まごころさんとは長い付き合いですが、会報にのせるのは今回が初めてです。

ぼくは、まごころさんに月曜から金曜にお風呂のケアをお願いしています。

まごころさんと出会って大きく変わった部分は、ヘルパーさんたちと色々な世間話や、ぼくの趣味の話をお話するようになったことで、ありがとうございます。そしてこれからもお願いします。

～まごころふれあい祭り特集～

「夢短冊」に皆様より、225枚の作品をいただき、会場の笹竹に飾りました。作品の一部を紹介いたします。

- くろうは幸せの一步 がんばろう
- 挑む姿勢をいつまでも
- 幻想郷見つける
- 月見酒地球を枕でひと眠り
- 友と思ひ供とも思ふ杖なれど両手を振りて歩きたき日も
- “できたらいいな” その日その時まで①健康に生きること②おいしく飲めること、ささやかな願ひ「夢」です
- まだまだ人生の大舞台に立ちたい
- 牛はそのそと歩く
- 2.5次元にいられますように
- ひもすがら風にきらめく若葉かな

楽しいマジックを披露された河村尚治さん



児童デイも太鼓の演奏で活躍



見事な三味線と歌を披露された澤田八十八さん



大事な見守り

▼介護保険利用のAさん(81才)がケア中、トイレで転倒し骨折された。もともと介護保険のケアプランの中では、Aさんに対して身体介護は「入浴時の見守り」が必要であることだけ示されていた。ベッドで過ごすことが多い方であるにもかかわらず、いつもケアしているヘルパーは、トイレにしろ、入浴にしろ、自身のことはほぼできると判断してしまっていた。

▼Bさん(85才)は食事中、食べ物が詰まって呼吸困難となったため、慌てたヘルパーが、背中を強く叩いても詰まった物が出ず救急車を呼んだ。救急車が来る間、心臓マッサージをして喉奥に詰まったものを出すことができた。この利用者さんは、以前から嚥下の問題があったが、本人の嗜好で普通の固さで食べてもらうことに重点が置かれていた。

▼介護の中で、「見守り」は本人の行動そのものの自立を促すために、大事な行為の一つです。ただ、高齢者はいつ、なんどき、身体的に弱り、急変することが多いかを承知して、本人の安全を考慮し介護にあたるのが大切です。常に本人の安全を考えて見守っているかどうか、傍についていても不慮の事故は完全に防げるとは限らないが、事故が起きないための配慮と、事故が起きた時の適確な対応を念頭に入れて見守る必要があります。

